

調査結果報告書

- ①豊浦町空き家実態調査
- ②空き家の活用に関するアンケート調査

平成 28 年 12 月

豊浦町地方創生推進室

◎豊浦町空き家実態調査

【調査目的】

豊浦町全域における空き家の適正な管理の促進や利活用の推進を図るため、空き家実態調査を実施し、「利活用可能な空き家」と「老朽化した空き家」等に分類し、整理した。

【空き家実態調査について】

●調査実施期間：平成 28 年 4 月 21 日～平成 28 年 10 月 31 日

●調査結果

＜建物全体の老朽化度（判定基準 ア～オ）＞

建物全体の老朽化度（判定基準ア～オ）	件数
ア 適切に維持管理がされている空き家	61
イ そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態	49
ウ そのまま放置すれば著しく衛生上有害となるおそれの状態	12
エ 適切な管理が行われていないことにより、著しく景観を損なっている状態	10
オ その他周辺的生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態	11
合計	143

【調査対象家屋について】

1,733 戸（平成 28 年 1 月 1 日現在）

※平成 28 年度分固定資産の価格等の概要調書等報告書（木造家屋に関する調（その 1）及び木造以外の家屋に関する調（2）住宅、アパート）より）

【空き家件数及び割合について】

●空き家件数：143 戸

●空き家率：8.3%（143 戸/1,733 戸）

◎空き家の活用に関するアンケート調査

【調査目的】

豊浦町空き家実態調査結果をもとに、空き家と判定した物件 143 戸のうち、所有者が不明の物件などを除く 69 戸について、所有者の意向を確認することを目的に、「空き家の活用に関するアンケート調査」を実施した。

【空き家の活用に関するアンケート調査について】 ※平成 28 年 11 月 30 日現在

- 調査方法：①郵送 ②聞き取り
※町（地方創生推進室）単独で実施。
- 発送件数：69 戸（所有者が特定できた家屋数）
- 回答件数：46 戸（回答率：66.7%）
- 未回答数：23 戸

<参考>

- アンケート調査中に聞き取り等により新たに所有者が判明した物件数：22 戸
- 所有者が不明などの理由で調査未実施の物件数：52 戸
※新たに所有者が判明した物件については、今後、アンケート調査発送。

【調査結果（主なもの）】 詳細は後述に示す。

<空き家の「売却意向」について>

回答の選択肢	件数
1. 現在、売却相手を探している	6
2. ここ 1、2 年のうちに売却したい	3
3. 現在検討していないが将来的には売却したい	4
4. 将来的に売却する意向はない	9
5. わからない	7

<空き家バンク制度について>

回答の選択肢		件数
知っている	制度を活用したい	3
	制度は活用しない	8
	不明	2
知らない	制度を活用したい	10
	制度は活用しない	4
	不明	3

< 廃屋解体撤去費用補助金制度について >

回答の選択肢		件数
知っている	制度を活用したい	8
	制度は活用しない	3
	不明	4
知らない	制度を活用したい	7
	制度は活用しない	7
	不明	3

< とよورا住宅リフォーム券助成事業（商工会事業）について >

回答の選択肢		件数
知っている	制度を活用したい	3
	制度は活用しない	4
	不明	2
知らない	制度を活用したい	5
	制度は活用しない	8
	不明	3

◎その他

【空き家バンク登録件数】 ※豊浦町ホームページで公開

- 平成 27 年度 3 件（平成 28 年 2 月 15 日付登録）
- 平成 28 年度 2 件（平成 28 年 6 月 16 日及び同年 8 月 29 日付登録）